

平成24年度事業報告書

平成24年6月1日から平成25年5月31日まで

特定非営利活動法人 東上まちづくりフォーラム

1. 事業の成果

平成24年度の活動を、(1) 地域資源の再発見と人材開発の場の提供、(2) まちづくり提案とプロジェクト活動、(3) 住民交流の場づくり、の3項目に分けて以下に記載する。(1)は、「ビジネス助っ人隊」と中心とした受託業務、(2)は会員から自主的に立ちあがったプロジェクト、(3)は「とくとく市民大学」での活動を中心としている。

(1) 地域資源の再発見と人材開発の場の提供

24年度に活動があった「ビジネス助っ人隊」のチームは、「コンサル助っ人隊」「パソコン・IT助っ人隊」「求職者訓練助っ人隊」の3チームであった。「ビジネス助っ人隊」全体としての収入は300万円弱となっている。継続している事業にプラスして、今期は、新たに「用地台帳電子化進捗管理」業務が受託できた。

上記の「ビジネス助っ人隊」の活動以外にも、受託業務として、「障害者就労施設・シニア世代連携事業」と「地域力アップ事業」を埼玉県等から受託して行った。「障害者就労施設・シニア世代連携事業」での収入は500万円強であり、今期事業の中ではもっとも大きな金額となっている。

(2) まちづくり提案とプロジェクト活動

「志木市地域支え合いの仕組み推進事業」は、平成22年度7月より始まり3年が経過した。「お手伝い隊」の会員は、利用会員・(有償) ボランティア会員ともに着実に増加し、それぞれ200名、100名程となっている。着実に地域のなかに根付いた事業となり、地域内での知名度・浸透度も確実にアップしている。現在、この事業の収支はマイナスとなっているが、今後も助成金を申請する等の方策を講じて存続を図りたいと考えている。

「障害者・高齢者支援プロジェクト」(通称「ハート・プロジェクト」)では、継続してパソコン・ITの分野において、障害者の自立支援や高齢者の生きがい支援を行った。障害者団体との接点もさらに深まり、また親身になって高齢者層にパソコン操作等を教えるメンバーの姿勢は、高く評価され、とても喜ばれている。

その他に、東上まちづくりフォーラム内に立ちあがっているプロジェクトとして、「防災プロジェクト」、「住まいと地域の絆プロジェクト」、「ILC 国際村プロジェクト」、「ジモトのおやつプロジェクト」がある。まだ収入は少なく、コミュニティビジネスにも至っていないが、すべて今後の発展が期待できるプロジェクトである。

(3) 住民交流の場づくり

上記の「志木市地域支え合いの仕組み推進事業」を補完する事業として「にぎわいプロジェクト」があり、地元の商店街や商工会等と連携しながら各種イベントを実施した。商店街をはじめ、地元との接点がさらに深まった。

「とくとく市民大学」は、平成22年度7月のセミナールームの完成を受け、同年9月1日に2学部(実務学部、文化学部)とサークル活動の体制で開校してから、約3年が経過した。受講者の数は多くはないが、地域住民との交流という意味では着実に成果を上げている。

2. 事業報告

(1) 特定非営利活動に係わる事業

①地域資源の再発見と人材開発の場の提供

ビジネス助っ人隊としての業務は以下となる。なお、「ビジネス助っ人隊」全体としての統括リーダーは、正木隆雄理事が務めた。

助っ人隊名等	活動内容
<p>コンサル助っ人隊</p> <p>リーダー；鈴木和雄</p>	<p>現在は継続的な営業活動はなく、何かの契機で知り合った経営者に対し提案を行い、案件になればメンバーを募集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業（零細企業）の経営支援を行う ・ 単に経営分析手法を使った机上の支援ではなく、実利を伴い即効性ある具体的な支援を求められる ・ コンサルの過程で、販路開拓、経営研修、ホームページ制作等を依頼されることがある ・ 概ね継続している企業 日本ミンコ、カネエイ、三光物産 ・ 新規受託案件 用地台帳電子化進捗管理
<p>パソコン・IT助っ人隊</p> <p>リーダー；鈴木徹也</p>	<p>パソコン研修、ネットワーク設定、ホームページ制作などを請け負う。案件ごとにチームを編成し活動する。</p> <p>パソコン・IT助っ人隊の枠としての活動よりも、他の助っ人隊またはプロジェクトに参加して活動するケースが多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ制作（依頼会社ごとのチーム） ・ 求職者訓練（IT研修チーム） ・ とくとも市民大学IT研修チーム ・ ハートプロジェクトにおけるPC研修、ホームページ制作研修 ・ お手伝い隊としての在宅訪問サポート
<p>求職者訓練助っ人隊</p> <p>リーダー；三宅照一</p>	<p>国、または県が求職者の就職に必要な訓練を民間に委託する制度に基づき実施。国、県からの委託先は（株）志木サテライト・オフィスで、東上はそこからの再委託となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講座の全運用を任されるケース ・ 科目ごとに講師派遣をするケース ・ 国、県からの委託数、ハローワークからの受講者紹介がともに減少傾向にある

その他の受託業務の内容は以下となる。

受託業務名等	活動内容
<p>障害者就労施設・シニア世代 連携事業</p> <p>リーダー；松山まゆ美</p>	<p>障害者就労施設（B型事業所）を対象に、経営の効率化、新商品開発、販路拡大を支援し施設利用者（障がい者）の工賃向上を実現する目的の県からの委託事業。</p> <p>事業期間は平成24年10月から27年3月まで。24年度は準備期間、25年度は本格活動期間として具体的な成果を求められる。</p> <p>支援対象は以下の4施設。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人皆の郷 第3川越いもの子作業所（川越） ・ NPO法人サポートあおい ワークセンターせんば（川越） ・ 社会福祉法人にいざ 福祉工房さわらび（新座） ・ 社会福祉法人あかぼり福祉会 ゆりヶ丘学園（川口）

地域力アップ事業 リーダー；武内 昇	彩の国地域NPO連絡会より「南西部ふれあい街道」事業受託 ・ 自主防災のすすめ；60,000 円の助成金 志木市商工会、朝霞市商工会、志木・朝霞消防署の協力 ・ 甘酒街道；30,000 円の助成金
-----------------------	---

②まちづくり提案とプロジェクト活動

プロジェクト名称	活動内容
志木市地域支え合いの仕組み 推進事業 リーダー；碓俊美、(鈴木和雄)	「お手伝い隊」を編成し、介護保険制度でカバーしきれない生活支援などを行う活動。県からの委託事業として志木市商工会との連携で平成22年6月から平成25年3月まで実施したが、同年4月からは東上の自主事業として継続している。 ・ 利用者登録200名、サポーター登録100名、月平均100件の支援 ・ 平成25年4月からは東上の自主事業として継続中 ・ 「高齢者の社会的孤立防止」事業とともらえて、(独)福祉医療機構に助成金を申請
障がい者・高齢者 支援プロジェクト (ハート・プロジェクト) リーダー；三宅照一	障がい者またはそれを支援する団体に有償また無償でITスキルを指導し、障がい者の自立ないし支援団体の活動支援を行う。 ・ 障がい者の在宅就業を目的としたホームページ制作スキル ・ 障がい者を支援する団体メンバーのためのパソコン基本操作
防災プロジェクト リーダー；正木隆雄	自治体が推進する自主防災組織の対象から外れたマンション管理組合、商店街、企業にたいして自主防災組織の設立と防災訓練などの支援を行なう。県の炊き出し応援隊に登録済み。他の助っ人隊またはプロジェクトと連携して活動する場合もある。 ・ セミナーや勉強会の講師。 ・ 防災組織、訓練、炊き出しなどの活動支援 ・ 防災グッズを取り扱う主要な企業と契約し、購入希望者があれば企業に紹介し、東上は所定の紹介料を受け取る
住まいと地域の絆プロジェクト リーダー；正木隆雄	平成23年、県からの委託事業「参加体験型地域力アップ事業」を実施した結果、その中から東上の自主事業として継続を決定したプロジェクト。以下内容で活動を始めているがまだ収入には至っていない。 ・ 分譲マンションの修繕に関する支援業務 ・ 地域住民及びマンション管理組合から修繕についての相談を受けリーズナブルな修繕方法を提案する ・ 地元工事会社などから仲介手数料を得る
ILC 国際村プロジェクト リーダー；清水章、 ジム・ワインブレナー	上記「参加体験型地域力アップ事業」の実施結果、独自事業として継続を決定したプロジェクト。 ・ 地域のグローバル対応力アップを目的とする ・ 市民レベルでできることからフォーラムとして始めていく ・ 独自に会員制(会費)を設けている
ジモトのおやつプロジェクト リーダー；松山まゆ美、(柴田郁夫)	埼玉県南西部「ジモトのおやつ」実行委員会の後継団体として平成24年5月に「埼玉県南西部ジモトのおやつ協議会」が発足。その事務局機能を担うなどの活動を実施。 ・ 「埼玉県南西部ジモトのおやつ協議会」の事務局活動 ・ イベントにブースを設け「ジモトのおやつ」販売場所を提供

③住民交流の場づくり

プロジェクト名称	活動内容
にぎわいプロジェクト リーダー；鈴木和雄	コミュニティ・ビジネスとして、地元商工会や商店街との連携により、お祭り等の各種イベントの開催、地方製品の販売等を手がけている。 地域支え合い事業を補完するプロジェクトとして、支え合い事業の広報活動、同事業の財源の確保を目指している。
とくとく市民大学 リーダー；松下明正(本多幸治)	“学び”、“教える”体験を通じて、自己実現とまちづくり、社会貢献につなげることを目的とするプロジェクト。 志木市役所とは直接には何の関係もなく独自に募集活動を行っているが、まだ受講者が少ない。 ・正会員が自己の経験やスキルをベースに講師またはコーディネータとなって講座を企画運営する ・英会話、サークル（写真俳句、絵画教室、国際ゲーム、音楽デイング）は固定受講者があり安定している ・単発講座、ビジネスに近い講座は集客が難しい

(2) その他の活動に係わる事業

①地域物品等の販売

事業名称	活動内容
ジモトのおやつ販売	「地域ブランド」としての「ジモトのおやつ」商品等を独自に仕入れ販売を行う事業。

②中小企業、非営利活動法人の経営支援

事業名称	活動内容
営業助っ人隊及び コンサル助っ人隊	営業助っ人隊は顧客企業との接点づくり及び企業の営業支援を担当し、コンサル助っ人隊や他の助っ人隊との有機的な連携により、個別案件の発掘と小企業、NPOの経営支援を行う。 継続的なつながりができている企業との間では、比較的安定して事業収入を得ている。